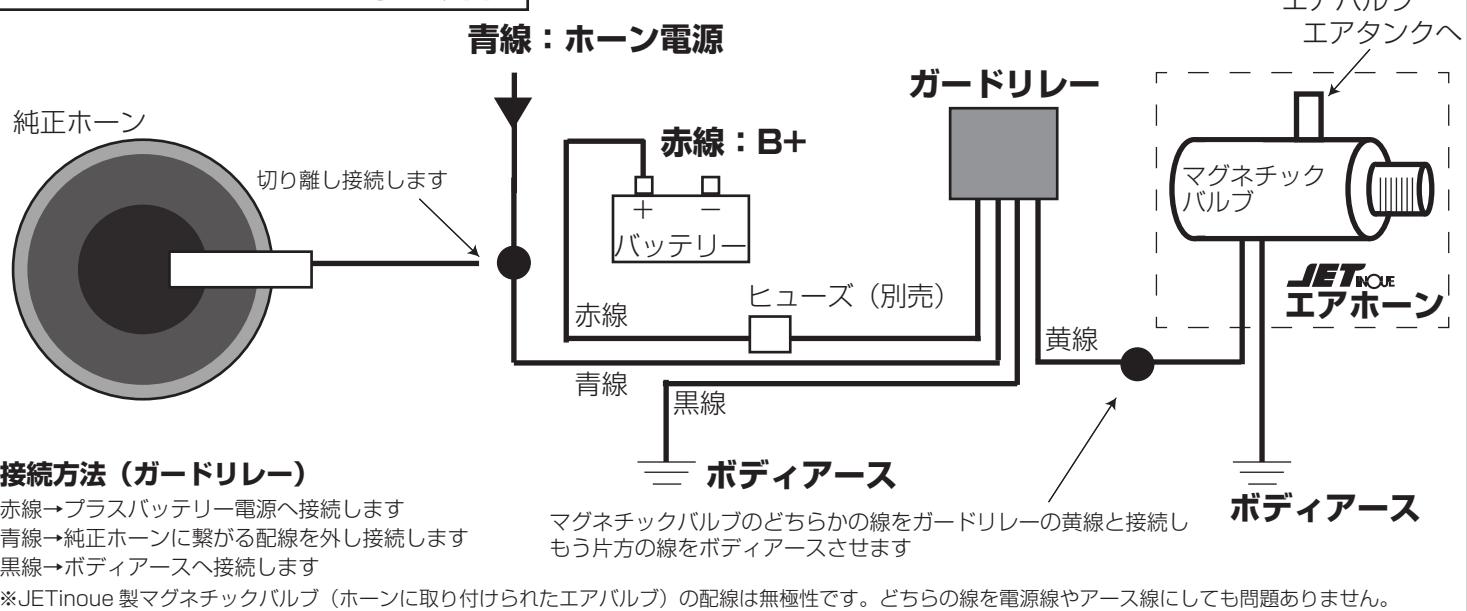


下記に配線例（純正ホーンスイッチを使用する場合）を記載しましたので参考にして下さい。

①純正ホーンの配線が1本の場合。

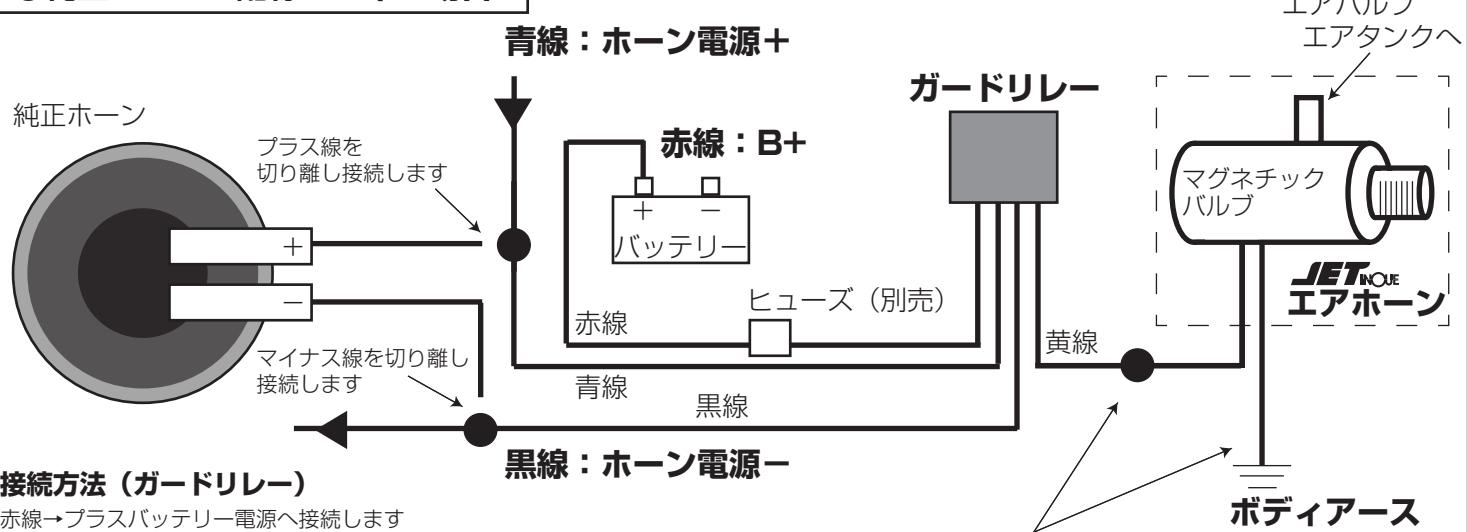


接続方法（ガードリレー）

赤線→プラスバッテリー電源へ接続します
青線→純正ホーンに繋がる配線を外し接続します
黒線→ボディアースへ接続します

※JETinoue 製マグネチックバルブ（ホーンに取り付けられたエアバルブ）の配線は無極性です。どちらの線を電源線やアース線にしても問題ありません。

②純正ホーンの配線が2本の場合。



接続方法（ガードリレー）

赤線→プラスバッテリー電源へ接続します
青線→純正ホーンに繋がるプラス線を外し接続します
黒線→純正ホーンに繋がるマイナス線を外し接続します

青線の接続について

純正ホーンに繋がる2線のうち、検電をして常に電気供給のある線、またはホーンスイッチを押したときに電気供給のある線（プラス線）と接続してください。
黒線は電気供給のない側の線（マイナス線）と接続します。

※JETinoue 製マグネチックバルブ（ホーンに取り付けられたエアバルブ）の配線は無極性です。どちらの線を電源線やアース線にしても問題ありません。

*ガードリレー赤線と接続するバッテリー電源のあいだに、使用するホーンの消費電流に応じてヒューズ（別売）をご利用ください。

目安：エアホーン1本（24V専用エアバルブ）→5A、エアホーン2本（24V専用エアバルブ）→10A、エアホーン1本（12/24V共用エアバルブ）→10A、エアホーン2本（12/24V共用エアバルブ）→20A

*純正ホーンが2個取付けられている場合は、配線加工をおこなわない側の純正ホーンの配線を取り外し、作動しないようにして、絶縁をして下さい。

③別売りのホーンスイッチを使用する場合～追記

505113 及び 505114 ガードリレーは不要です

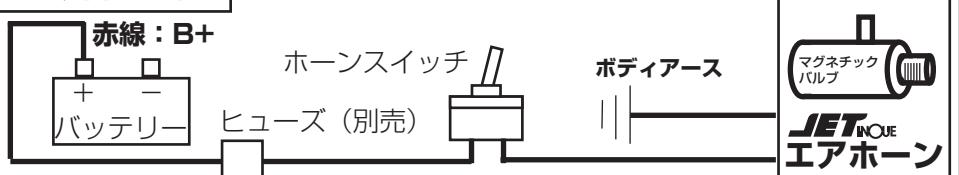
電源側の配線にバルブの容量にあわせた

ヒューズを取り付ける必要があります。

JET 低電流 1.5A 系エアホーン→3A 以上のヒューズ

JET 低電流以外 DX 系のエアホーン→10A 以上のヒューズ

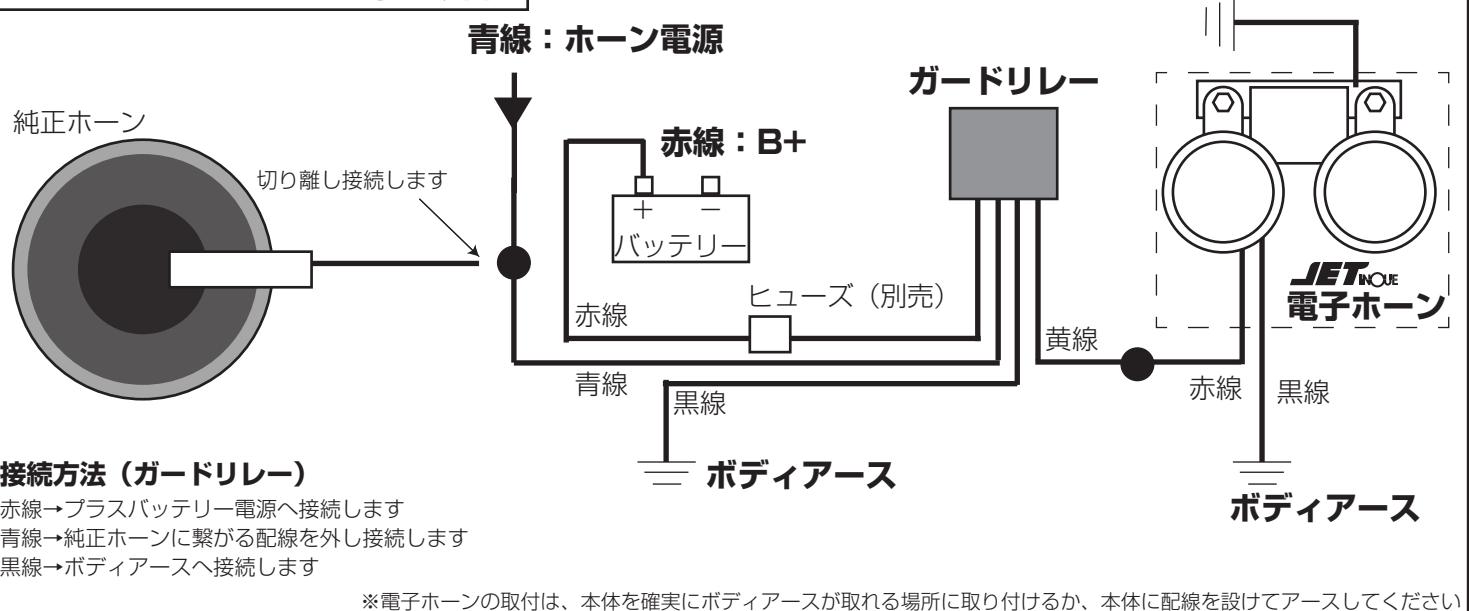
他社製エアホーン→定格出力に応じたアンペアヒューズ



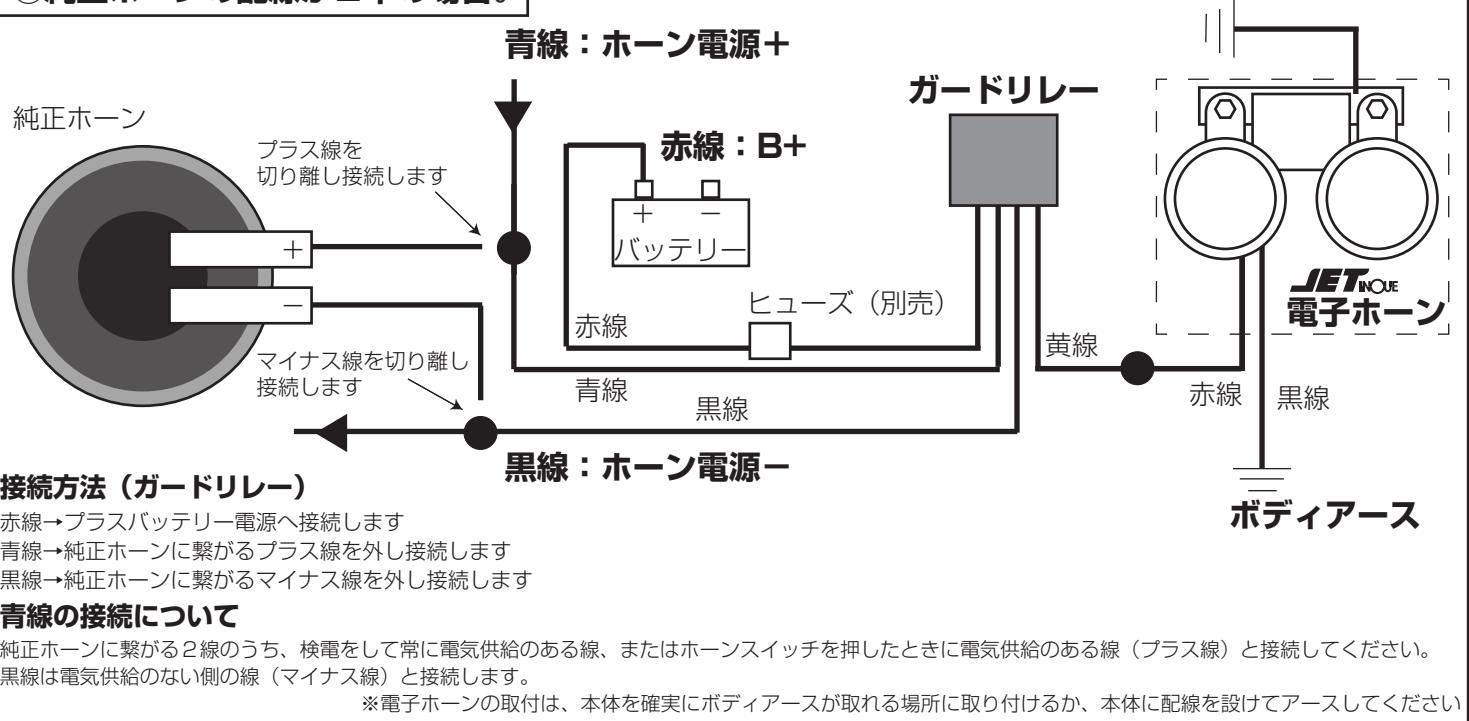
- コードを延長する場合、赤 / 黄線は AV2.00sq 以上、青線は AV1.25sq 以上のコードを使用し、接続はギボシ等を使用し確実に結線 / 絶縁してください。
- 作業に際しては必ずバッテリーのマイナス端子を外し、作業終了時に接続して下さい。他社のガードリレーをお使いの場合はその取扱説明書に従って下さい。
- 上記の配線図は純正ホーンスイッチを使用する参考図です。取付けする車両により配線方法が異なる場合や取付不可の場合がありますので予めご了承下さい。
- 本製品には金属部分の角やエッジ等、鋭利な部分もございますので怪我等をされないよう手袋で手を保護する等、安全に十分注意して作業を行なって下さい。
- ホーン開口部から雨水等が入らないようご注意下さい。
- 本製品の分解や改造は危険ですので絶対におやめ下さい。また、電圧の異なる車両への取付けはおやめ下さい。
- 使用中に異常を感じたときは直ちに使用を中止し、本製品を取外して下さい。
- 誤った取付けや使用により発生した故障や事故等に関しましては、当社では一切の責任をおいかねます。

下記に配線例（純正ホーンスイッチを使用する場合）を記載しましたので参考にして下さい。

①純正ホーンの配線が1本の場合。



②純正ホーンの配線が2本の場合。



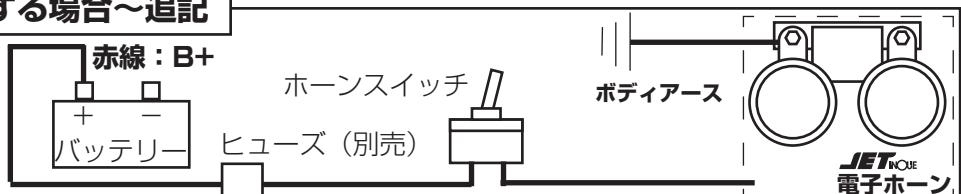
* ガードリレー赤線と接続するバッテリー電源のあいだに、使用するホーンの消費電流に応じてヒューズ（別売）をご利用ください。

目安：ジェットイノウ製電子ホーンの場合、15Aのヒューズをご利用ください。

* 純正ホーンが2個取付けられている場合は、配線加工をおこなわない側の純正ホーンの配線を取り外し、作動しないようにして、絶縁をして下さい。

③別売りのホーンスイッチを使用する場合～追記

※電子ホーンの取付は、本体を確実にボディアースが取れる場所に取り付けるか、本体に配線を設けてアースしてください



- コードを延長する場合、赤 / 黄線は AV2.00sq 以上、青線は AV1.25sq 以上のコードを使用し、接続はギボシ等を使用し確実に結線 / 絶縁してください。
- 作業に際しては必ずバッテリーのマイナス端子を外し、作業終了時に接続して下さい。他社のガードリレーをお使いの場合はその取扱説明書に従って下さい。
- 上記の配線図は純正ホーンスイッチを使用する参考図です。取付けする車両により配線方法が異なる場合や取付不可の場合がありますので予めご了承下さい。
- 本製品には金属部分の角やエッジ等、鋭利な部分もございますので怪我等をされないよう手袋で手を保護する等、安全に十分注意して作業を行なって下さい。
- ホーン開口部から雨水等が入らないようご注意下さい。
- 本製品の分解や改造は危険ですので絶対におやめ下さい。また、電圧の異なる車両への取付けはおやめ下さい。
- 使用中に異常を感じたときは直ちに使用を中止し、本製品を取外して下さい。
- 誤った取付けや使用により発生した故障や事故等に関しましては、当社では一切の責任をおいかねます。